

検討試案図  比較項目		検討試案 (3区制) 	検討試案 (4区制) 
1 人口規模	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各区ともほぼバランスがとれているといえます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ A区の人口は約4.9万人であり、他の区とのバランスを大きく欠いているといえます。</li> <li>○ また、将来人口推計からも増加要因は見られない状況にあります。</li> </ul>	
2 歴史的事情	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ A区は、従来からの広域的なつながりや、合併の経緯*なども尊重されていると考えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ A区は、水源地域の共通した自然環境が考慮されていると考えます。</li> <li>○ B区は、合併の経緯*と生活圏が尊重されていると考えます。</li> </ul>	
3 拠点性 (区役所位置から)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 旧市の3拠点のまちづくりが反映されています。</li> <li>○ A区は、橋本に拠点を持つことになり、広大な面積を有する旧津久井郡(特に3町)への配慮が必要であると考えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 旧市の3拠点のまちづくりが反映されています。</li> <li>○ A区は、津久井総合事務所に拠点を持つこととなりますが、相模湖町・藤野町地域への配慮が必要であると考えます。</li> </ul>	
4 既存行政区画の尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保健福祉や土木など、既存行政圏域が概ね尊重されていると考えますが、A区とB区では若干の見直しが必要となります。</li> <li>○ C区の麻溝地区は現行ではB区のエリアで行政サービスを受けている状況から市民への理解が必要と考えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保健福祉や土木など、既存行政圏域が概ね尊重されていると考えますが、A区とB区では若干の見直しが必要となります。</li> <li>○ D区の麻溝地区は現行ではC区のエリアで行政サービスを受けている状況から市民への理解が必要と考えます。</li> </ul>	
5 効率性 (区役所位置から)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 想定している区役所は、既存の公共施設を中心に検討しており、整備にかかる経費の負担が抑えられると考えます。</li> <li>○ 橋本駅周辺の区役所も、効率性を重視した検討が必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 検討試案②と同様です。</li> </ul>	
6 利便性 (区役所位置から)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 想定している区役所の位置は、周辺の商業や業務機能、交通アクセスの状況からみて利便性が高いと考えます。</li> <li>○ 橋本駅周辺の区役所も、利便性を重視した検討が必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 検討試案②と同様です。</li> </ul>	
7 将来のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ A区におけるさがみ縦貫道路城山IC周辺の土地利用や津久井広域道路の建設促進などは、区内での完結が可能です。</li> <li>○ B区における小田急多摩線の延伸計画やC区で行われる新しい交通計画などもそれぞれ区内での完結が可能です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ A区は、水源地域の共通した自然環境を持ち合わせており、都市と明確に区分されたまちづくりを可能としますが、津久井広域道路の建設促進などはB区との連携が必要であると考えます。</li> <li>○ C区における小田急多摩線の延伸計画やD区で行われる新しい交通計画などはそれぞれ区内での完結が可能です。</li> </ul>	
8 市民意見	賛成 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人口バランスが最も良い。</li> <li>○ 生活圏との整合が図られている。</li> <li>○ 相模原駅周辺と橋本地区は別の区が合理的</li> <li>○ 新市の一体化を考慮した区制が重要</li> <li>○ 城山町地区は橋本地区が日常の生活圏</li> <li>○ 津久井地域と橋本地区とは昔からつながりがある。</li> <li>○ 各区の議員定数が平準化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 津久井地域の広い面積を考慮し、単に人口割合だけで決めるべきではない。</li> <li>○ 城山町地区は、橋本地区が日常の生活圏</li> <li>○ 自然と都市が明確で、その良さを市民が共有できる。</li> <li>○ 津久井地域の新しいまちづくりのチャンス</li> <li>○ 自然を財産として捉えている。</li> </ul>	
	反対 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ A区の業務範囲が広範囲になり、他区に比べ対応が難しい。</li> <li>○ 津久井地域にとって、区役所が橋本地区では不便</li> <li>○ 環境が大きく違う2つの地域では、特色を活かしたまちづくりがしにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ A区の人口が極端に少ない。</li> <li>○ 過疎地域を見離す案に感じられる。</li> </ul>	

\*合併の経緯【参考：津久井郡4町合併協議会設置の動き】(「合併の記録」より)

平成15年1月に津久井青年会議所が中心となって、津久井郡4町に対して、住民発議による「津久井郡4町の法定協議会」設置請求が行われ、各町議会の平成15年3月定例会において審議されたが、相模湖町と藤野町の議会で可決されたものの、城山町と津久井町の議会で否決されたため、津久井郡4町の合併を目指す合併協議会の設置には至らなかった。